

御蔵島村 議会だより

編集・発行

御蔵島村議会
「議会だより」編集委員会
TEL8-2121
FAX8-2239



御蔵島小中学校 学校祭

- 掲 載 記 事
- 1 議長頭文
 - 2 第3回定例会について
 - 1) 議決事項
 - 2) 一般質問
 - 3) 総務委員会質疑
 - 3 活動報告等

平成23年11月

頭 文

議長 栗本 道雄

西の季節風がそろそろ吹き始める季節になりましたが、村民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

議会では9月定例会において平成22年度決算と各会計の補正予算等が審議され、全て原案通り可決し、終了しました。

尚、9月定例会では全ての議案審議を総務委員会にて審議致しました。

さて、10月に村長選挙が実施され、現村長の2期目の村政が始まりました。今後4年間、御蔵島の舵取りをしっかりとお願いするとともに、村議会としても行政の監視役としてその責任を十分に果たしていきたいと思っております。

村長の2期目の公約等は広報等で伝えられているとおりです。

同じく10月に小笠原諸島世界自然遺産登録記念式典が小笠原・父島で開催され出席しました。ご存じのとおり小笠原は「東京都版エコツーリズム」の先進地です。今後、御蔵島のエコツーリズムにも様々な事を取り入れて行く必要を感じましたが、その一方で地域の持つ特徴を損なわず、利用していくことの大切さも強く感じました。

御蔵島では今後、1次産業の振興が急務です。村長公約の中にもありますが、具体的な方策や予算を立ち上げて行かなければなりません。産業の振興に伴い、今後もある程度増加する人口に備え、福祉や医療、保育や教育、住宅供給等、議会としても真剣に取り組んでまいります。

また、3月の大震災をふまえて来年度には防災訓練を計画し、実施していただく予定です。さらに村民の声を直接聞く「村民大会」（仮称）の実施も引き続き行政側に働きかけていきます。

最後になりましたが、12月に伊豆大島町議会の視察と傍聴を予定しています。

平成23年第3回定例会 議決事項

平成23年第3回定例村議会が、9月13日（火）に開会され、22年度決算12件、23年度補正予算11件、条例1件、意見書1件を議決しました。議決された議案は、次のとおりです。

〔決算〕平成22年度

(単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	1,149,995,385	1,129,392,192	20,603,193
航路会計	66,112,022	63,711,787	2,400,235
産業センター会計	21,509,687	20,447,776	1,061,911
御蔵島会館会計	14,341,960	14,340,442	1,518
宿泊施設会計	38,343,942	35,399,813	2,944,129
簡易水道会計	12,289,641	12,105,957	183,684
国保会計（事業）	59,845,027	56,816,155	3,028,872
国保会計（直診）	72,718,760	66,778,305	5,940,455
老保〔医療〕会計	7,157	7,157	0
介護保険会計（事業）	16,429,386	16,102,196	327,190
介護保険会計（サービス）	486,053	392,736	93,317
後期高齢者医療会計	5,138,380	5,041,925	96,455

〔補正予算〕平成23年度

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（2回）	1,041,729	33,403	1,075,132
航路会計（1回）	63,411	4,274	67,685
産業センター会計（1回）	30,013	0	30,013
御蔵会館会計（1回）	12,938	5,027	17,965
宿泊施設会計（1回）	36,218	1,167	37,385
簡易水道会計（1回）	22,673	530	23,203
国保会計（事業）（1回）	52,675	2,528	55,203
国保会計（直診）（1回）	71,336	0	71,336
介護保険会計（事業）（1回）	15,703	323	16,026
介護保険会計（サービス）（1回）	884	83	967
後期高齢者医療会計（1回）	5,149	0	5,149

〔条 例・意見書〕

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
承認第1号	御蔵島村税条例の一部を改正する条例	平成23年9月13日	原案承認
発議第1号	離島振興法の改正・延長を求める意見書	平成23年9月13日	原案可決

〔その他〕

- 平成22年度教育委員会事務点検評価報告

一般質問

広瀬鹿雄 議員

貨物船欠航時の生鮮品輸送につ

いて

【質問】

六月議会で貨物船欠航時の生鮮食品の輸送で質問した。実際は、八月、九月、各一回欠航した。八月は、三宅で降ろして、翌日の客船で移送し順調に着いた。九月は、三宅で降ろしたが、翌日の天候が悪く、翌々日の客船で着いた。こういう実績があるが、これから冬を迎え貨物船の欠航は当然多くなる。天候の状況でいろいろ変わるのにはやむを得ないが、基本的に貨物船が欠航した場合、生鮮食品が入った冷凍・冷蔵コンテナを三宅島で降ろすと理解して良いか。

【回答】

産業課長補佐 木曜日に貨物船が欠航した場合は、三宅で生鮮食品の冷凍・冷蔵コンテナを降ろして、次の日の客船対応ということでお願いしている。例外として、台風などで何日も客船が竹芝を出航しない場合はできないこともあるが、基本的には三宅島で降ろすという事で東海汽船と協議している。

【意見】

今後も基本的に三宅で降ろすという答弁をいただいた。更に、欠航時の三宅島代理店及び御蔵島棧橋業務受託者との意思疎通

【質問】

に万全を期すよう、特に願う。毎日来る客船に生鮮食品を積むのが基本。しかしさるびあ丸には冷凍・冷蔵コンテナ用のコンセントが無いという。東海汽船がかめりあ丸等に代わる新船を建造する場合、設計の段階からコンテナスペースの確保やコンセントの設置などを要望していく必要があるのではないか。

【回答】

村長 東京都や国も加わっている航路改善検討委員会において、「一週間に一度だけの貨物船で生鮮食品を運ぶのはおかしい。」と指摘し、毎日運航している客船で運ぶことを要望している。貨物船についても三宅に週三回来ているのに、なぜ御蔵には一回しか来ないのかということも問題提起している。新船は、船体は今のさるびあ丸とほぼ同等。積載コンテナ数を増加。客数は約六百名程度で完成は平成二十六年を予定している。

【意見】

基本的には毎日客船が運航しているのだから、生鮮食品を積みとるのが希望だ。しかし、それだけの量の貨物があるのかということも当然起きてくる。生鮮食品の輸送方法を決める際には商店ともよく協議をすることが必要だ。客船に毎日積むのか、貨物船を週三回にするのかも含めて村の考え方を統一する必要がある。その要望が実現しない場合も考慮して代案も考えておかなければならない。

赤沢農道・森山ヶ下住宅用地等の

整備について

【質問】

六月議会で、赤沢農道の整備については計画繰り上げて早期の実現。森山ヶ下住宅用地については計画の住民周知。この二つをお願いした。本年度も半年経過したのでこの二つの事業の進捗状況と今後の進め方を伺いたい。

【回答】

産業課長補佐 赤沢農道については、起工中であり、間もなく調査委託の契約となる。森山ヶ下住宅用地についても間もなく委託契約となる。

【意見】

なるべく早く早く契約し、作業を早く進めていただきたい。次の議会でも、進捗状況を確認する。村の構想が決まれば、私も意見を述べたい点がある。

水道料金の支払い方法について

【質問】

住民からの要望。電気や電話などの公共料金は郵便局で払い込みができる。しかし水道料金は集金を行っており、時間が合わず、留守の家に何遍も来る。郵便局で払い込むことが出来ないか。また出来ない理由があるか。

【回答】

産業課長 村で口座振替の制度を利用していただくのは村民税、固定資産税、軽自動車税、国保税の四件。実際に口座振替を利用していただく人は平均で七・三%という状況。その

辺も踏まえて検討が必要かと思う。

【質問】税金等は郵便局でも役場でも払込みできる。水道料金は集金に来ないと払えない。公共料金の口座振替の利用率が低いから水道料金は集金にしているのか。

【回答】産業課長 水道料金の収入は年間五百三十万、対象件数が二百二十七件である。毎月納付書を送付する経費や手間と委託料との比較も検討する必要がある。

【意見】村が赤字を出してまでやる必要はない。しかし利用者が不便を感じている現実があるので検討していただきたい。

災害情報の住民周知について

【質問】港湾区域のうち、特に東防波堤の小型船舶泊地付近では港湾工事の関係者、漁業者、観光客の方が大勢いる。この付近で災害時の村内放送は聞こえるのか。船客待合所付近にスピーカーはあるようだが。

【回答】総務・民生係長 東防波堤付近は、村内と比べ放送が聞こえにくい場合がある。今後村内放送設備の改修を行うので改善したい。テトラポットを製作している場所は泊地から回り込んでいて聞こえない。津波発生時には非常に危険。早急に改善してもらいたい。今回の補正予算で放送施設改修とあるが、この中で実施するのか。

【回答】総務・民生係長 その中であわせて行う。

教員住宅の住環境について

【意見】教職員は都の職員だが、御蔵の学校で子供達がお世話になっている。西の沢の教職員住宅はもとも住環境がよくない。特に上の棟の一階は一日中、日が当たらない。現在、村民の方が住宅を建設中である。これにより下の棟の環境も厳しくなる。御蔵で働く教職員の住環境を改善して、より一層子供の教育に専念出来るよう、東京都に対して村の教育委員会から住宅の実状と住環境改善の要望をして頂きたい。(注：建築中の住宅は正しい建築をおり、何ら問題はない。)

栗本範一 議員

村長の公約について

【質問】村長から来期も出馬するという話を伺った。村長は主な公約として「住民参加型でかつ安心して暮らせる島づくり」を掲げて村政を進めてきた。しかし公約の中にもあった住民集会については未だに開催されていない。第一回の議会でも十月までに実施するという回答だった。このことについて村長の考えを伺いたい。

【回答】村長 住民集会は確かに本来 真つ先に行わなければならないことだった。心残りであるのは住民集会が出来なかったこと。私自身の不徳のいたすところ。今後どのような形で開催するかを踏まえて事務方とも協議が必要だと思っている。今まで実施出来

なかつた事について深く反省している。

【意見】村の事業は一方通行の事業が多いという声が村民から多数聞こえてくる。やると言った事は、やっていただきたい。

温泉事業について

【質問】ふれあい広場で掘削された温泉は福祉保健センターに引き込んで利用することで完了という計画以外は白紙という回答だった。前回議会から三ヶ月経過したが、進捗状況は。

【回答】産業課長補佐 第一回の開発総合審議会で村からの一方通行ではなくて、広く意見を聞きながら、専門部会などで練り上げて行く事になっている。

【質問】温泉の福祉保健センターへの引き込みについて、前回議会でも温泉の成分などを考慮すると特殊浴槽には使用できないのではないか指摘したが、その後調査等をしたか。

【回答】産業課長補佐 現在使用している特殊浴槽では使えない。今後どのようにするのかも踏まえて設計を行うべく、設計委託の契約を進めている。

地上デジタルの難視聴対策について

【質問】地上デジタルの難視聴については総務省の施策で一般住民に対してはかなり改善された。開発総合センター、保育園、観光資

料館、船客待合所等の村有施設についてもBSアンテナ設置等の対策を実施する予定があるか。

〔回答〕 総務・民生係長 地デジの難視聴対策は、当初総務省の計画では個人住宅が対象であった。公営である村営住宅は対象外となる。ところを総務省との協議の結果、対象としていただいた。指摘された村有施設についても難視聴対策を実施してもらえよう。総務省と協議を行っている。

生鮮食品の定期船の積替え周知

について

〔質問〕 貨物船が欠航した場合、コンテナを定期船に積み替えて天候がよければ、翌日客船で運ばれてくる。これはありがたいとの声も多い。しかし、客船に積み替えて翌日入ってくるということを知らない住民も多い。周知方法を検討してもらえないか。

〔回答〕 産業課長補佐 朝の客船に関する村内放送は様々な経緯で取りやめた。船の運航に関しては村内の業者に委託している。周知の方法は委託先業者と協議して住民にとって良い方向でできるようにしたい。

職員採用について

〔質問〕 九月一日採用予定で職員を募集していたが、新しい職員の採用状況を教えてほしい。

〔回答〕 総務課長補佐 現在三名の内定者と調整し

ている。今週中に一名、来週中に一名、十月中旬に一名が赴任する予定。

〔質問〕 内定者の方は全員島外から来る方だと思うが、住宅等の環境は整っているか。

〔回答〕 総務課長補佐 その部分を含めて調整しており、スケジュールに沿って赴任できるような体制は整っている。

広報紙の「広報みくら」について

〔質問〕 発行時期が不定期で毎月発行されていない。また、島民カレンダーについても利用者は多いが、月末に発行されているのに、その月のカレンダーをもらっても意味がない。改善していただきたい。

〔回答〕 総務課長 十月発行分から改善する。

広瀬正一 議員

村役場の島出身職員について

〔質問〕 四〜五年後には本島出身の村役場職員は数人となる。島のことを知っている行政マンは欠かせない。島外出身者の職員も素晴らしい資質を持っており、そのことを否定するものではない。しかし、将来を考え、御蔵島出身行政マンが必要と考える。理事者側も、何らかの方策を考える時期に来ているのではないか。

〔回答〕 総務課長 御蔵島出身職員の確保は重要課題と認識しているが、近年では適齢若者層の仕事に対する意識が多様化しており、自

由な環境での仕事を求める傾向が強い。今後、ご指摘のとおり島内出身者の採用に努めるが、議員の皆さんも応援をお願いしたい。島外採用職員についても重要な戦力として認識しており、さらに島の住民としての存在感を持つよう、我々としても応援していく。

〔回答〕 村長 これから三〜四年後に島出身の行政職は三人という時代を迎える。住民サービスをやる中でこれはゆゆしき大変な問題である。島出身者が今後の御蔵の将来を背負って行くために、二十八名の職員の中でせめて半分はいてもらいたい。島存続の問題になってくると思っている。

栗本寿晃 議員

港湾施設の立入制限について

〔質問〕 前議会で「支庁と協議する」との答弁をいただいた。支庁事業説明会においても一部村役場に管理委託していると返答を頂いたが、その後協議された内容と施設内の制限、安全管理上の責任の所在について、村長お答え願いたい。

〔回答〕 副村長 六月議会で港湾管理について質問があり、三宅支庁と東京都港湾管理条例について確認した。東京都港湾管理条例第二十三条に「正当な理由なく港湾施設に立ち入ることはこれをしてはならない」という趣旨の条文がある。また、村は支庁から御

蔵島港の管理業務を委託されている。委託

の内容は主に設備の確認、巡回巡視及び円滑に船舶が接岸し、荷役作業等が行えるようにすることである。議員が指摘した釣り

などの日常的な棧橋への立入は厳密にいえば禁止ということになるが、その制限を村が行うことは管理委託の範疇ではないというのが支庁からの回答である。

【質問】

船舶着岸時、車両が棧橋に入っているのは村の管理の中に入っているという認識で良いか。

【回答】

副村長 村が受けている管理業務委託の範疇は、船舶が接岸等をすると、明らかに危険を及ぼすような状況がある場合には規制を行うということ。

南郷の浜への生活道路の立入禁止について

止について

【質問】

住民の利用頻度の高い昔からある生活道路を、工事を理由に閉鎖して何年経過しているのか。この立入禁止にしてから調査、測量、設計、工事と総工費を幾ら投入し、今現在もこの状態を続けていることについて、村長お答え願いたい。

（回答）産業課長 事業費は四年間で七千四百万円。

村の認識としては、住民の立入を禁止しているわけではない。観光客等を想定している。ただし住民が入る場合は自己責任でお願いしたい。

【質問】

入口に「立入禁止」の看板とロープが張ってあるので、住民でも行けないと思っている。住民は行ってもよいということになり、ぜひ周知してもらいたい。

（回答）産業課長 看板の建て替えなどで対応したい。

洲崎浜への生活道路の立入禁止について

止について

【質問】

住民の利用頻度の高い昔からある生活道路を、工事を理由に閉鎖して何年経過しているのか。この立入禁止にしてから調査、測量、設計、工事と総工費を幾ら投入し、今現在もこの状態を続けていることについて、村長お答え願いたい。

【回答】

産業課長 事業費は二年間で二百万円を投入。立入禁止については南郷の浜と同様の認識。

船舶等の投棄を規制する条例について

止について

【質問】

条例制定後、個人所有地内、船揚げ場、都道脇へと使用される予定のない状態の船舶等が多々見受けられるが、この条例はそういった物件に対しての認識と考えられるかがいかか。村長お答え願いたい。

【回答】

総務・民生係長 この条例は船舶の投棄を規制し、廃棄する船舶のエンジン部分を申

請により村が島外搬出することを規定している。指摘どおり、船舶等の投棄が行われれば規制しなければならない。条例に

規定されていない船の本体部分の廃棄方法については所有者の負担などを含めて条例を整備する。

保健師用住宅の空き室について

【質問】

保健師を募集している訳でもない。空き部屋におかなければいけない訳でもない。なぜ、何かといえは財政状況が厳しいといながらも少しでも家賃収入を得ようと努力できないのか。村長お答え願いたい。

【回答】

総務課長 職員定数に保健師1名の枠が条例で定められており、今後保健師の確保については課題として対応を考えている。

ゴミ収集について

【質問】

村が委託契約している仕様書に記載されていない箇所にての収集や収集運搬車の経路上で個人宅専用の収集と、人口密集度から見ても明らかに優遇され過ぎる人とそうでない地域が存在する。収集方法についても問題がある。昔からのやり方で、「住民の協力が必要」と理解するが、朝の貴重な時間の拘束、収集運搬車へ投入という危険な作業。本来、業者がやるべき行為を住民が協力という立場でいのように利用されている。ゴミ収集を全般的に見直すべきであると共に改善を要求するが、村長お答え願

たい。

〔回答〕 総務・民生係長 収集場所の契約については実態に即したものにしたい。住民がごみの投入をしていることについては、できる限り受託者で行うという方向で協議する。

〔質問〕 収集箇所については、個人宅前での収集など今現在実施している箇所は今まで通り実施することだと理解するが、新たに住民が多い地域などで収集を希望する場合は、収集箇所を追加してくれるのか。

〔回答〕 総務・民生係長 必要に応じて検討する。

黒田正道 議員

村長の村長選挙再出馬について

〔意見〕 村長の再出馬の意向を伺う予定だったが、先ほどの村政報告の中で出馬するとの報告があった。投票、無投票にかかわらず、ぜひ公約、マニフェストを出していただきたい。

温泉事業について

〔意見〕 温泉利用は慎重にしてもらいたい。赤字が出るような施設はやめていただきたい。

高校進学者の助成について

〔質問〕 御蔵島会館についての議論の時に何らかの形で高校など島外進学者への助成をお願いしたが、検討するとの返事だった。その後具体的なものが出たか。

〔回答〕 総務課長 高校、大学、専門学校等への進

学者に対して村独自の新事業として何らかの支援ができないか検討してきた。恒久財源が伴わないと事業としては成立しないので恒久財源の確保も含めて島の子供たちの応援ができる形を考えたい。時期については具体的には未定ですが、子供たちが安心して進学できる環境にしたい。そして将来は、島に帰ってきて御蔵島の戦力になってほしいと考えている。

保育園の延長保育について

〔質問〕 当初予算に保育園の延長保育にかかわる予算が計上されていた。半年経過した現在、延長保育はどうなっているのかを伺いたい。

〔回答〕 総務・民生係長 延長保育については検討を重ねており、共働きの方、ひとり親等、真に延長サービスが必要な住民を対象として実施するべく調整している。延長保育を実施するにはスタッフの数、保護者負担等、見直す必要があるため保護者意見交換会を十一月までを目途に開催できるように進めている。

総務委員会での主な質疑

防災について

〔質問〕 栗本道雄議員 三月十一日の大震災後、村の防災計画の見直しはしているか。

〔回答〕 総務・民生係長 必要に応じて毎年度見直しとされているが、現在のところ見直しはしていない。

〔質問〕 栗本道雄議員 来年度は実施したいという避難訓練。御蔵島では一度もやった覚えがない。住民を対象にして台風、津波、土砂災害等を想定した避難訓練を実施する計画はあるか。

〔回答〕 総務・民生係長 避難訓練は東京都及び関係機関の指導等を仰ぎ、次年度に実施を予定している。

〔質問〕 栗本道雄議員 東京が災害により直接的な被害を受けると、御蔵島には被害がなくても、物流がストップして何も来なくなってしまう。そのような場合、防災計画では民間の商店もしくは、農協の協力を仰ぐことになっているが、特に食料は災害時に何日分の備蓄があるのか。

〔回答〕 総務・民生係長 災害用のクラッカーを三千五百食分備蓄している。仮に三百五十人に1日2食を配布したとして約五日分の備蓄となる。毛布については全村民に一枚ずつ配布できる備蓄がある。

〔意見〕 栗本道雄議員 消防団は御蔵島の唯一の防災組織であり、昨年は東京都の操法大会で準優勝をした実績も持っている。消防団の訓練を積んで、災害時に備えられる組織にしていくために、さらに支援を願いたい。

野猫の去勢と避妊について

【質問】 栗本道雄議員 野猫の去勢と避妊は今年度も行うのか。あと何年実施する予定か。

〔回答〕 総務・民生係長 三年間の計画が完了し、今年度新たに計画を立てる。

【質問】 栗本道雄議員 現在は去勢・避妊をした野猫を山へ戻している。その野猫は死ぬまで鳥を襲う。処置をした野猫は逃がさないで死ぬまで飼う。この方法だと、いずれ野猫はいなくなる。そのあとにネズミ対策として雄の猫だけを適当数放す。一時的にコストが掛かるが、長期的には良いと思う。今の方法を見直す考えがあるか。

〔回答〕 総務・民生係長 野猫の生息数の把握に努めている。野猫を完全に駆除するのは、ある程度保護するのは検討が必要。完全に駆除した場合にはネズミの増加が懸念される。また、野猫が相当数のオオミズナギドリを捕食していることも明らか。これらの状況を踏まえた上で、総合的な計画を策定していく必要がある。

エネルギー政策について

【質問】 栗本道雄議員 御蔵島における今後のエネルギーに関して、従来通り火力発電に頼るのか。それとも村長が推進しているソーラー電池を導入していくのか。個人的には小水力発電も検討する価値があると思うが、村はどう考えているか。

〔回答〕 村長 まず学校体育館屋上にソーラー発電機の導入。ソーラー発電導入について個人

に対する補助を始めた。御蔵島はエコを目指していく中で、少量でもエネルギーの自給を住民にお願いしたい。自然エネルギーの活用を考えていけば出来るのではないかと考える。また、農産物などで可能なものは自給できるようにしていくことが大切。飲料水・食料の確保は村として常に行っていくかなければならない。

御蔵島の芸能保存について

【質問】 栗本道雄議員 現在は暫定的に例大祭保存会が保存に当たっている。教育委員会として、助言や予算的なもの、事務的なことを含めて、ぜひバックアップをお願いしたい。保存会の皆さんのやる気を大切にして、文化財を残すということ、今後も継続していただきたい。今の時点で、具体的なことがあれば伺いたい。

〔回答〕 教育長 どんな支援ができるかを考えながら、文化財保存事業は継続的に進めていきたい。

カシノナガキクイムシの対策について

【質問】 栗本道雄議員 カシノナガキクイムシについて今年の被害状況と今後の対策は。

〔回答〕 産業課長 今年は木が余り枯れていない。カシノナガキクイムシ対策は被害にあった木を伐採し処分するということが補助金対

象となる。村では虫が来ても繁殖しないというような予防措置等の開発段階にある薬品を使用して試験を実施している。これが農薬登録できれば補助対象となる。

【質問】 栗本道雄議員 カシノナガキクイムシに対して鹿兒島では対策を講じていない。京都では徹底的にやる。御蔵島はこの中間を行うような感じだという認識でよいか。薬品による処置はすべての木に対して行うのは不可能なので重要な木に絞って行う。ほかはおとり木等を使用して虫をできるだけ減らす。これを続けるという認識でよいか。

〔回答〕 村長 以前、鹿兒島・京都の両方を兼ね備えた対策という話をした。被害に遭った木については伐採した後はシイタケの櫛木に使用することも考えられる。無策で行くというのが一番危険だと思う。

お年寄りの福祉について

【質問】 栗本道雄議員 御蔵で努力して頑張ったお年寄りが、残念ながら、島で寿命を全うできないというような事態になっている。確かに病氣など仕方がない場合もある。三宅島のおじさいの里などを否定するものではない。このような状況を打開するために、村として対策を考えてほしい。

〔回答〕 総務課長 最期まで島で面倒を見たいという思いは共通している。しかし現実にはなかなかわかない個別の条件もある。その場合の選択肢として、施設入所ということも現

御蔵島会館について

状ではやむを得ない。可能な限り支援できるように考えていきたい。

【質問】 栗本寿晃議員 御蔵島会館の管理人に報償金を出すようだが、委託契約をしていた方に報償金を払うということか。今後も同様にしていくのか。

【回答】 総務課長 委託契約の中に退職手当を支給するという規定はないが、学校や診療所などの委託契約者に村長の判断で慰労金を支払ってきた過去の事例を踏襲している。

【質問】 栗本範一議員 委託契約者に対して報償を出すという要綱があるということか。

【回答】 総務課長 それはない。過去の事例を判断して支払うということ。好ましくないということであれば、委託契約する際にしっかりと規定する可能性も出てくる。

【意見】 広瀬鹿雄議員 本来ならばしっかりと規定があつたほうがいいが、長い間、御蔵島会館のために勤めてくれた方なので、個人としては、ぜひ報償をしていただきたい。

【質問】 黒田正道議員 報償金を払うことについて異存はない。しかし当初予算ではなく補正予算に盛り込むというのは、不透明な感じがする。この機会に報償費については条例などできちんと明文化する。ぜひ、それをお願いしたい。

【回答】 総務課長 不公平が出ないようにきっちり整理して、正規の手続で執行する形をつくつ

ていかなければいけない。

【意見】 栗本寿晃議員 委託契約で、すでに委託料を払っているのに、別に報償金を払う必要はないのではないか。

【質問】 栗本道雄議員 条例の制定などを検討してもらえるのか。

【回答】 副村長 しつかり検討して進めていきたいと考えている。

活動報告

栗本道雄議長

七月四日～五日

・ 東京都町村議長会臨時総会、優良町村行政視察(高知県禰原町)

七月二十八日

・ スポーツ祭東京実行委員会

八月二日

・ 島しょ町村会、議会議長会合同会議、島しょ町村一部事務組合

九月二十五日

・ 御蔵島村敬老祝賀会

十月十一日～十六日

・ 小笠原諸島世界自然遺産登録記念式典、祝賀会及び小笠原視察

十月二十七日

・ 東京都道路整備事業推進大会

全議員

九月九日

・ 御蔵島村村議会議員全員協議会

九月十三日

・ 御蔵島村議会定例会(第三回)
御蔵島村議会総務委員会

その他

七月十二日～十三日

・ 都議会議員三宅正彦都議来島
(栗本道雄・黒田正道・栗本範一・広瀬鹿雄・広瀬正一各議員)
九月七日
・ 御蔵島開発総合審議会(栗本道雄・栗本範一各議員)

定例議会予定

平成二十三年大島町議会第四回定例会傍聴及び視察

平成二十三年十一月十一日(月) 予定

平成二十三年御蔵島村議会第四回定例会

平成二十三年十一月十四日(水) 予定